

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年12月3日 NO.14



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇羽咋市小中合同音楽会◇ 11/15(金)

市内小中学校合同の第63回を数える音楽会が開催されました。コスモアイル羽咋のステージで、5・6年生34名が「めあて」を持ち合唱ができました。

指揮者：6年中川瑛斗さん、ピアノ：山本結以さん。曲「いのちの歌」。

本番当日は、美しい声でハモる場面もあり、粟ノ保っ子のがんばる姿が見られ、大変感動しうれしかったです。歌い終わった後の「満足感」「達成感」を味わうことが出来ました。

これまで音楽の時間を中心に自主練習もしてきたこともあり自信につながる一日でした。保護者の皆様、ありがとうございました。

今までの練習の成果が存分に発揮できました。



◇ハーベストフェスティバル◇ 11/19(火)

夏野菜、秋野菜と年2回の収穫をしました。夏は、トマト、キュウリ、ナスが中心、秋野菜は、さつまいもが中心。土作りや摘果など地域の先生に指導を仰いで収穫ができました。

収穫祭は児童中心で開催。年間通して学校に協力して下さっている方（見守り隊、読み聞かせ、クラブ、畑の先生）に招待状を渡して全校で感謝を表す会を実施しました。



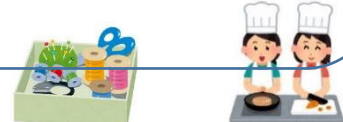
英語検定ジュニアに挑戦！ 12/12(木)

1年生～4年生（全36名）の内、希望者24名が英語検定ジュニアに挑戦します。学校で外国語活動の時間や粟ノ保タイムなどで練習してきました。検定問題は、英語で話すのを聞いてあてはまる絵を選ぶという形式です。目標は正答率80%。9月検定で3級合格（6年生1名）ができました。大変すばらしい結果です。



今年度のクラブが終了！

ソフトバレーボールの高田英治さん、茶道の川畑朝子さん、裁縫の井表登喜美さん、料理の高田順治さん、川端祐美子さんご指導いただきありがとうございました。来年もご指導願えれば幸いです。



◇ 12月全校集会：校長の話 ◇ 12/2(月)

12月に入りました。師走です。2学期もわずかとなり締めくくる頃になりました。

今月は「人権」の話をからめて「思いやりの心」について話をしました。**ひまわり憲法**の「ま」。「まわりを思いやる心」です。12/4(水)には、人権擁護委員7名が来校し2年生対象に「人権教室」も計画しています。



さて、内容は「人のいやがることを、したり言ったりしてませんか?」「自分と違うからと人をからかったり笑ったりしていませんか?」。人は、みんな違います。顔、体の大きさ、皮膚の色、性格、障害のある人、男の子と女の子・・・など、みな違います。みんな一人一人が、かけがえのない命をもっていて、精一杯生きています。人はみな、その人なりに、人として生きる権利をもっているのです。ですから、自分を大切にすることはもちろんですが、同時に、他の人の命や他の人の気持ちも大切にしていかなければなりません。



少しかみくだいて、「地獄、極楽」の話を例えとして紹介しました。

ある人が、「地獄」とはどんなところなのかと思い、見に行きました。「地獄」に着くとちょうど食事の時間でした。「地獄」の人たちは、おいしそうな食べ物を他の人に取られてたまるかと、長い長いお箸を使い、他の人より先に食べようとしました。しかし、お箸が長すぎるため、食べ物が口に届きません。誰一人として食べる事ができませんでした。

次に、その人は「極楽」に行ってみました。その「極楽」もちょうど食事の時間でした。そして、「地獄」と同じように、おいしそうな食事がたくさん並んでいました。やはり長い箸がおかれ、それを使わねばなりません。「これはおいしそうな食事ですね。お一ついかがですか。」と言って、目の前にいる人に食べさせてあげていました。

そして、食べさせてもらった人も「とてもおいしいです。あなたもいかがですか。」と、お返しに相手の口に食べ物を運んであげました。

【話から伝えたいこと】

- 「他人のことを考えずに、自分のことだけを考えて行動している」のが「地獄」。
⇒ 自分さえよければ では、幸せになれません。ひとりぼっちになってしまいます。
- 反対に、「他人のことも思いやって、共に支えながら楽しく行動している」のが「極楽」。
⇒ 幸せの花は、相手(周りの人)と自分との間に咲く花です。

大きな違いがあるようですが、実はほんの少しの違いなんです。

その違いは私たちの心の中にあるのです。

自分たちのクラス・学校を「楽しいクラス・学校」

にするためには、一人一人がどんな行動をすれば良いか、

ぜひ、考えてみてください。

